

大学による地方創生人材教育プログラム構築事業(COC+R) 事後評価結果

COC+R 大学名	公立大学法人 岡山県立大学
事業名	「吉備の杜」創造戦略プロジェクト-雑草型人材育成を目指して-

【総括評価】

A 計画どおりの取組が行われ、成果が得られていることから、本事業の目的を達成できたと評価できる。

【コメント】

- ・本事業は、岡山県の総合計画を踏まえ、若者の地元就職と地域活性化を図るため、学部3年次生から大学院生及び社会人を対象に、企業が直面する課題等に実践型PBL演習を通じて、自ら考え自ら行動する人材を養成してきた。各事業年次で、プログラム総受講者数、地元就職者数、地元定着率、大学以外の事業協働機関による事業への満足度等において、大いなる成果を上げた。
- ・これらの成果は学長のリーダーシップの下、専門性の高い教員による教員の質の担保並びにコーディネーター並びに自治体や事業協働機関の協力の総和である。本事業の展開により、大学による地域社会のニーズ把握が進み、地域における大学の在り方としての好事例として注目に値する。

<優れている点>

- ・開設プログラム数は目標通り開設され、総受講者数は目標値を大きく超えた。
- ・地元就職者数は令和6年度には目標値を上回り、地元就職率も年々向上し、事業最終年度までに260名が県内に就職した。大学以外の事業協働機関による事業への満足度については令和4年度90%、令和5年度95%、令和6年度100%となり目標を達成した。任意設定した目標に対する達成状況も優れており、教育プログラム受講生のSDGs理解度も96.3%まで達成した。
- ・PDと教員の連繋によって、学生が主体的に学べる環境を整えて成果を上げた。特に、学部生と大学院生が同じテーマで演習に取り組む機会創設とともに、企業等の若手社員が加わった演習では、「プレゼン力」、「課題解決能力」、「説明能力」等の能力について向上が認められ、成果をあげた。

<今後、期待する点>

- ・自走化については、フォローアップでの指摘を踏まえ、大学の教育プログラムとして再構築するなどの進捗が見られるが、本事業の終了時点では、自ら提案した策が具体化されているものが量的にも質的にも必ずしも十分とはいえない。科目や教育方法などの学内設定にとどまる事を超え、岡山県などの地方自治体・企業などの支援を拡大するとともに、社会人の積極的な参加を求めていく必要があると思われる。